

海外派遣留学プログラム「帰国報告書」

記入日	2026/1/21
所属学部・研究科・学府	園芸学部
所属学科・専攻	食料資源経済学科
留学時の学年	学部3年

1. 留学先について

留学先大学名	慶熙大学												
留学先所属学部等	経営学部												
留学期間	出発日	2025/8/24	入学日	2025/9/1	修了日	2025/12/18	帰国日	2025/12/23					
住居	<input checked="" type="checkbox"/>	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/>	民間アパート	<input type="checkbox"/>	その他 ()							
	住居の決め方		世和院という留学生用の寮があり、大学から近く、費用も抑えられるため										
	通学時間		5分(国際キャンパスまでは1時間半)					On campus					
	通学方法		ソウルキャンパス→徒歩(国際→シャトルバス)										
	居室スペース		<input type="checkbox"/>	個室	<input checked="" type="checkbox"/>	(2)	人部屋	<input type="checkbox"/>	その他 ()				
	共有スペース		<input type="checkbox"/>	完全個室	<input checked="" type="checkbox"/>	キッチン	<input checked="" type="checkbox"/>	トイレ	<input checked="" type="checkbox"/>	バス	<input checked="" type="checkbox"/>	リビング	<input checked="" type="checkbox"/>
食事	自炊	50 %	学食	10 %	外食	40 %	その他 % ()						
保険	海外旅行保険 (名称・加入プラン名)		OSSMA Plus / PLAN_C										
	留学先国・大学指定保険 (名称・加入内容)		NHIS(自動的に入ることになるが免除可能)							<input checked="" type="checkbox"/>	加入必須		
	その他加入保険												
渡航ルート		成田 ⇄ 仁川空港(飛行機) ⇄ 回基駅(地下鉄)											

2. 留学資金の内訳

自費	<input checked="" type="checkbox"/>	貯金	100,000 円	アルバイト	円	その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/>	親	500,000 円	家族・親戚	円	その他	円
奨学金		JASSO	円	その他名称 ()			円
その他		()					円

3. 留学にかかった費用

総費用	約	505,000 円
-----	---	-----------

3-1. 留学にかかった費用：内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			41,590	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)			36,450	円

その他の保険料				円
査証・在留許可証	won	35,000(外国人登録)	15,580	円
住居	won	1,290,000	139,963	円
光熱費			0	円
通信費 (Wi-Fi、SIMカードなど)			13,880	円
食費			200,000(外食込み)	円
通学に要する交通費	won	60,000	6,415	円
教科書, 教材費	won	30,000	3,200	円
その他大学に支払った経費				円
その他 (渡航前検査)			41,680	円
その他 (サークル)	won	50,000	5,345	円
その他 ()				円

3-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	証明証→現金 / 教材→クレジットカード(VISA) 交通費→paycoというアプリ(銀行できるまでは現金、作ってから韓国の銀行を結びつけて)
住居にかかった費用	WISEを使って現金振込
その他	友人と割り勘をする際に韓国の銀行使う

3-3. お金の管理方法

渡航時	✓	現金	56,000 円	✓	その他 (クレジットカード(VISA))	円	
留学中		海外送金			キャッシング	✓	その他 (韓国に来た友人から直接15000円)
現地での口座開設	✓	開設した	用意した書類や 気を付けること等	(在学証明書、現金20000ウォン、外国人登録証明書、パスポート)		開設しなかった	

4. 学業面

4-1. 履修科目一覧

履修科目名	種類 ex.正規/聴講	単位数	単位互換		
1 K-contents Korean Advanced B	正規	3		有	○ 無
2 K-contents Korean Intermediate B	正規	3		有	○ 無
3 Introduction to Accounting	正規	3	○	有	無
4 Business Statistics	正規	3		有	○ 無
5				有	無
6				有	無
7				有	無
8				有	無
9				有	無
10				有	無

4-2. 授業科目の選択, 登録方法

7/14~7/18にwishlistへ追加、7/21に1次履修登録、8/13~8/14に2次履修登録、9/1~9/5に履修登録(恐らくこれが現地の大学生が履修登録を行う期間)

専門科目を取りつつ、文化を学びながら行う韓国語の授業を取りました。

4-3. 授業内容, 方法に関して

経営統計学の授業は、電子教科書をダウンロードし、毎回PPTが配布される形式でした。毎週課題と小テストがありましたが、予想問題も配られるため、しっかり勉強すれば必ず満点が取れるレベルでした。定期テストはパソコンを使用したOpen Book形式で、各自で受験します。グループワークは特になく、留学生の割合も比較的多いため、安心して受講できました。

会計原理の授業は、受講者約90人のうち留学生が2人のみで、進行スピードも速く、初めて学ぶ内容が多かったため大変でした。毎回PPTが配布され、教科書も購入しましたが、課題以外で使用することはほとんどありませんでした。課題は全3回ほどあり量は多いものの、教科書に解答が掲載されているため取り組みやすかったです。定期テストは筆記形式で、内容自体は難しいですが、用語を覚えれば計算問題が中心のため、点数は取りやすいと感じました。

韓国語の授業は2科目とも、すでに韓国語を流暢に話せるレベルの高い学生が多いクラスでした。少人数制のため指導が手厚く、対話形式で楽しく学ぶことができました。Advancedクラスでは、「好きな映画やドラマなどのコンテンツを分析する」という課題が一度ありました。Intermediateクラスでは、中間テストとして「自国の四季に合わせたおすすめスポット」をテーマにポスターを作成し発表し、期末テストでは「自国と韓国でリメイクされたドラマや音楽」を比較するPPT発表を行いました。Advancedクラスの間・期末テストはいずれも作文形式でした。外国語学部韓国語学科の授業のためキャンパス移動は大変でしたが、その分人脈や行動範囲が広がり、とても良い経験になったと感じています。

4-4. 語学力について

渡航前から「聞く・話す」力はある程度身につけていましたが、留学を通じて特に「読む・書く」力が大きく伸びたと実感しています。韓国語で書かれた長文を声に出して読む機会や、自分の考えを作文としてまとめる課題が多くあったことで、読解力・記述力の両方が強化されました。また、語彙力も向上したと感じています。韓国語の単語を音だけで覚えるのではなく、1文字ずつ分解して意味を理解するようになったことで、熟語のように組み替えて使えるようになりました。こうした学びを活かし、4月には韓国語能力試験を再度受験する予定です。

4-5. 図書館など学内施設について

ソウルキャンパス・国際キャンパスのどちらにも、非常に大きく立派な図書館があります。入館はアプリを使って行いますが、千葉大学とは異なり、自習スペースは事前に予約が必要です。その場ですぐ予約することは可能ですが、私は当初その仕組みを知らず、現地の学生に教えてもらいました。また、編集室や会議室などの特別な部屋も借りることができます。一方で、English Houseのような留学生向けの交流施設はなく、留学生同士の関わりが少なかった点は少し残念に感じました。

4-5. 交換留学期間中の千葉大学での学修について

5タームにオンデマンドで「データアナリシス」という授業を1つ履修しました。

5. 生活面

5-1. 住居について

部屋は2人部屋で、洗面台・バスルーム・冷蔵庫は共用です。バスとトイレは一体型で非常に狭く、日本のお風呂が恋しくなりました。部屋にキッチンはなく、1階の共用スペースに電子レンジ3台とトースター2台が設置されていました。また、すべての階に浄水器が2台ずつあり、水とお湯の両方が出るため、カップラーメンなどを食べることができました。地下2階には洗濯ルームがあり、洗濯機6台、乾燥機3台が設置されています。洗濯機・乾燥機ともに1回1000ウォンで、洗濯カードを購入し、現金で入金する方式でした。女子用の洗濯ルームは非常に混雑していたため、朝早く利用するなど、時間をずらす工夫をしていました。寮の管理人の方からは、「水曜日に掃除が入るので、木曜日に洗濯するとよい」と教えてもらいました。

同じく地下2階にはジムがあり、ランニングマシンやエアロバイクなど、基本的な器具が一通り揃っていました。利用者は男性が多い印象でしたが、女性でも使いやすい雰囲気でした。

5-2. 食生活について

あまり良い生活習慣とは言えませんが、留学中は朝食を取らず、ほとんど1日2食で過ごしていました。昼食は学食を利用することが多く、夕食は寮で食べるか、日によっては外食をしていました。徒歩15分ほどの場所にEmartという大きめのスーパーがあり、部屋でも食べやすいヨーグルトやサラダチキンなどをよく購入していました。一方で、寮では基本的に韓国のご飯、ラーメン中心の食生活になっており、正直あまり体に良くなかったと思います。当初はお米やのりもスーパーで購入していましたが、持ち帰るのが大変だったため、途中からはクパン（Amazonのような通販サイト）を利用するようになりました。他の留学生の中には、出前を頻繁に利用したり、電子レンジで調理（本来は禁止）をしている人もいました。出前を利用する学生は多かったものの、最低注文金額が高く、1人分としては量が多いため、私はあまり利用しませんでした。余談ですが、この留学中に「チムタク」という料理にハマリ、さまざまなお店のチムタクを食べ歩きました。とてもおすすめです。

5-3. インターネット環境, 携帯電話について

私の場合、事前の情報不足もあり予定がうまく噛み合わず、日本で購入した3日間のeSIM、韓国の携帯ショップ（U+）で購入した30日間のSIM、そしてチングモバイルで契約した90日間のSIMの、計3種類を使って過ごしました。韓国の一般的な携帯ショップでは、外国人登録証がないと長期契約ができず、観光客向けのSIMのみの販売となっています。一方でチングモバイルは留学生向けのプランがあり、外国人登録証が未発行の状態でも一時的に契約でき、登録証発行後に再度手続きを行う仕組みです。最初からチングモバイルを利用すればよかったのですが、この情報を知らなかったため、結果的に複数のSIMを使うことになりました。

料金は、日本で購入した3日間のeSIMが1,480円（無制限）、U+の30日間SIMが46,000ウォン（30GB）、チングモバイルの90日間SIMが70,000ウォン（無制限）でした。

また、韓国は街中にWiFi環境が整っており、地下鉄やバス、カフェや飲食店など、ほとんどの場所でWiFiを利用することができました。

5-4. 服装について

持参した服は、夏服6着、秋服3着、冬服3着ほどで、不足分は現地で購入しました。結果的に、服はできるだけ少なめに持って行くのが良いと感じました。韓国の夏は想像していたよりも肌寒い日が多く、9月は薄手のシャツやカーディガンが活躍しました。10月は長袖やパーカー程度がちょうどよく、11月頃から一気に冷え込み、アウターが必要になります。12月には日によって雪が降ることもあり、ダウンは必須でした。ダウンは現地で購入しました。韓国は服屋が多く、価格も比較的手頃なため、つい買いすぎてしまわないよう注意が必要だと感じました。また、青雲館の地下1階には大学グッズショップがあり、パーカーやスタジャンを購入することができます。韓国の大学といえば、学科ごとのスタジャンである「과잠」が有名ですが、秋学期は学科での共同購入がなく、青雲館で購入するか、ネットの大学グッズショップを利用するかの2択でした。11月頃になるとキャンパス内はスタジャンを着た学生で溢れますが、聞いた話では着ている人の多くは1年生か留学生だそうです。私はネットショップのデザインを購入しようとしたのですが、ネット注文には韓国の銀行口座が必要で、外国人登録証を待っているうちに時期を逃してしまい、最終的には購入できませんでした。

5-5. 健康管理について

千葉よりも寒い日が多く、ルームメイトは留学開始直後に風邪をひいていました。一方で私は、4か月間一度も体調を崩すことなく、元気に過ごすことができました。寮の中は床暖房があり暖かいものの、屋外との気温差が大きいいため、防寒対策は必須だと感じました。私は持参しませんでした。ルームメイトの話では、日本の風邪薬や頭痛薬がとても役に立ったそうです。

5-6. 保険、危機管理サービスの利用について*利用実績等をご記入ください。

留学中、私は保険を利用する機会はありませんでした。
また、加入が必須とされているNHIS（国民健康保険）については、外国人登録証が発行される頃から全員が自動的に加入となり、寮に振込用紙が届きます。しかし、日本人の友人から免除できることを教えてもらい、私は免除の手続きを行いました。免除のメリットとしては、月に約7,000円ほどの保険料を支払わずに済む点が挙げられます。一方で、デメリットは、万が一病院を受診した際に医療費が高額になる可能性がある点だと思います。手続きはシンドリム駅にある保健センターで行い、外国人登録証、日本の健康保険証、そしてその韓国語訳を提出すれば対応してもらえました。NHISを免除するかどうかは個人の判断にはなりますが、ひとつの選択肢として参考にいただければ幸いです。

5-7. 課外活動について

秋学期ということもあり、サークルの募集は少なく、自分から積極的に探さないと参加するのが難しい状況でした。ダンスや卓球サークルに所属している留学生の友人もいる中で、私は外国語学部日本語学科の演劇サークル「演夢」に所属しました。きっかけは、偶然出会った日本人の教授の方に「何か活動がしたい」と相談したところ、このサークルを紹介していただいたことでした。以前千葉大学に留学していた学生の友人もおり、このサークルを通して人脈が大きく広がりました。サークルでは、定期公演や学科のイベント、大会に向けてオリジナル作品を制作し、日本語での演劇練習を行っていました。特に印象に残っているのは、11月に行われた日本大使館主催の全国大会です。この大会に向けて、私は役者のイントネーションを指導したり、場面に合ったセリフを一緒に考えたりする役割を担いました。大会前の約3週間は特に活動が集中し、毎晩22時頃まで学校に残って練習を重ね、土日も登校して何度も試行錯誤しました。サークル活動中は常に韓国語で意見交換を行っていたため、語学力の向上も実感しました。また、日本語学科の学生と交流する中で、自分でも知らなかった日本の魅力を教えてもらったり、一緒にJ-POPを歌ったりと、楽しい時間を過ごすことができました。私のやりたいことをたくさん叶えてくれ、送別会まで開いてくれたこのサークルには本当に感謝しています。短い期間ではありましたが、とても濃く、これからも長く続けていきたいと強く思える交流になりました。

5-8. 学外のコミュニティとの交流について

千葉大学でLEXプログラムを通して仲良くなった友人たちとは、現地で一緒に遊園地へ行ったり、日本食を食べに行ったりしました。渡航直後でまだ現地の友達がいないうち、少しでも知り合いがいるという状況は大きな安心につながり、改めてLEXプログラムに参加して良かったと感じました。また、サークルの友人の紹介を通じて、他大学に留学している日本人学生や、そのパディーの韓国人学生とも交流することができました。新しいコミュニティに誘ってもらった際、初対面の人が多くても不安がらず積極的に参加したことで、交友関係をさらに広げることができたと思います。

5-9. 日本から持参してよかったもの

持って行って特に役立ったものは、ふりかけ・カップラーメン・生理用品・お菓子です。韓国のスーパーにもふりかけはありますが種類がとても少なく、日本のものは味も種類も豊富で重宝しました。カップラーメンも韓国で購入できますが、ほとんどが辛いので、たまに食べる日本の味がとても恋しく感じました。生理用品については、韓国にも多くの種類がありますが、やはり使い慣れている日本のものが安心だと感じました。海外製品は薄かったり、独特な香りがついていたりして、少し使いにくいと感ずることがありました。お菓子は、最初は「現地でも買えるだろう」と思い、あまり持って行きませんでした。実際には食べ慣れた味が恋しくなることが多く、持って行ける範囲で多めにあったと嬉しいと思いました。また、韓国でできた友人に日本のお菓子をプレゼントしたいと思い、途中で母に日本から送ってもらいました。タイ人やイタリア人の友人とお菓子交換をしたこともあり、とても喜んでくれたのでおすすめです。

5-10. 日本から持参したが不要だったもの

持参した韓国語のテキストは、留学中にわざわざ開いて勉強することはほとんどありませんでした。授業や課題、日常生活の中で常に韓国語に触れる環境にあったため、テキストを使わなくても十分に学ぶことができましたと感じています。また、洋服についても、現地でショッピングをする機会が多かったため、最初からあまり多く持って行く必要はなかったと思いました。

5-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い, マナーなど)

韓国で生活する中で、日本との文化や価値観の違いをいくつも感じました。車通りが多く、日本よりも道が狭い場所や路上駐車が多いため、危ないと感じる場面がありました。また、日本と比べて自分の意見をはっきり伝える文化が根付いていると感じました。友人同士でも意見がぶつかり合い、白熱した議論になることが多く、最初はとても驚きました。街中にはカフェのチェーン店が多く、大学生はもちろん大人も、1人1杯コーヒーを手をしている光景が印象的でした。図書館が24時間開いていたり、カフェも夜遅くまで営業していたりするため、遅い時間まで勉強している人が多いと感じました。韓国では日本以上に学校での成績が重視されており、サークル活動や部活動、アルバイトをしていない学生も多く、日本の学生との違いを強く実感しました。また、休学をする学生も多く、大学3年生で就職活動をしていると話すと、非常に驚かれることが多かったです。

5-12. 余暇の過ごし方

旅行

10月31日~11月1日慶州

11月1日~11月2日釜山

合計28575円

内容:歴史的な建造物を見に行ったり名物を食べたりした

その他

カフェ巡り、カラオケで熱唱する、ショッピングをする

6. その他

6-1. 留学希望者へのアドバイス

1人で長期留学に行くという選択は、準備段階から決して楽なものではなく、すべてを自分で調べ、自分で行動しなければなりません。現地に到着してからも、初めて出会う人と生活し、コミュニティも友達もない中で、最初は寂しさを感じることもありました。それでも、自分で道を探し、人に声をかけ、さまざまな経験を重ねていくうちに、自分自身の成長を実感するようになりました。振り返ってみると、助けてくれる人は想像以上にたくさんいて、視野も大きく広がり、世界中に友達ができました。また、日本を外から客観的に見ることで、日本の良さを改めて感じ、「帰りたい」と思えるようになったことも大きな変化でした。留学生活は、決して楽しいことばかりでも、いわゆる“キラキラした留学”でもなかったかもしれません。しかしそれ以上に多くの学びと出会いがあり、人生の中で宝物のような4か月間を過ごすことができたと感じています。もし留学に挑戦したいと考えているなら、私はぜひ長期で海外に飛び込むことをおすすめしたいです。

6-2. 留学を終えて

交換留学を終えて、私には大きく分けて二つの変化がありました。

一つ目は、挑戦へのハードルが下がったことです。幼少期からさまざまなことに挑戦してきましたが、それらは親や先生に勧められて始めたものがほとんどでした。しかし、この留学を通して、「何かを変えたい」と思ったときに自分から行動することや、「仲良くなりたい」と思った相手に自分からアクションを起こすことができるようになったと感じています。一つ一つの行動に自分の意思を持ち、周囲に働きかけることで、協力してくれる人や共感してくれる人がいるという経験は、大きな自信につながりました。

二つ目は、もっと努力しようと思えるようになったことです。韓国の学歴社会の中では、私が幼い頃から多くの習い事をしてきたことや、大学でもスポーツに取り組んでいることが、とても恵まれていて素晴らしいことだと言われました。日本で過ごしてきた私は、それらを当たり前のこととして受け止めていましたが、実は非常に整った環境の中で育ってきたのだと、改めて気づくことができました。だからこそ、この恵まれた環境を最大限に活かし、もっと努力したいと思うようになりました。勉強もサークル活動も、大学生として経験できることをすべてやり切りたいと考えています。

この留学で得た経験や出会いを大切に、これからの人生にしっかりと活かしていきたいと思います。